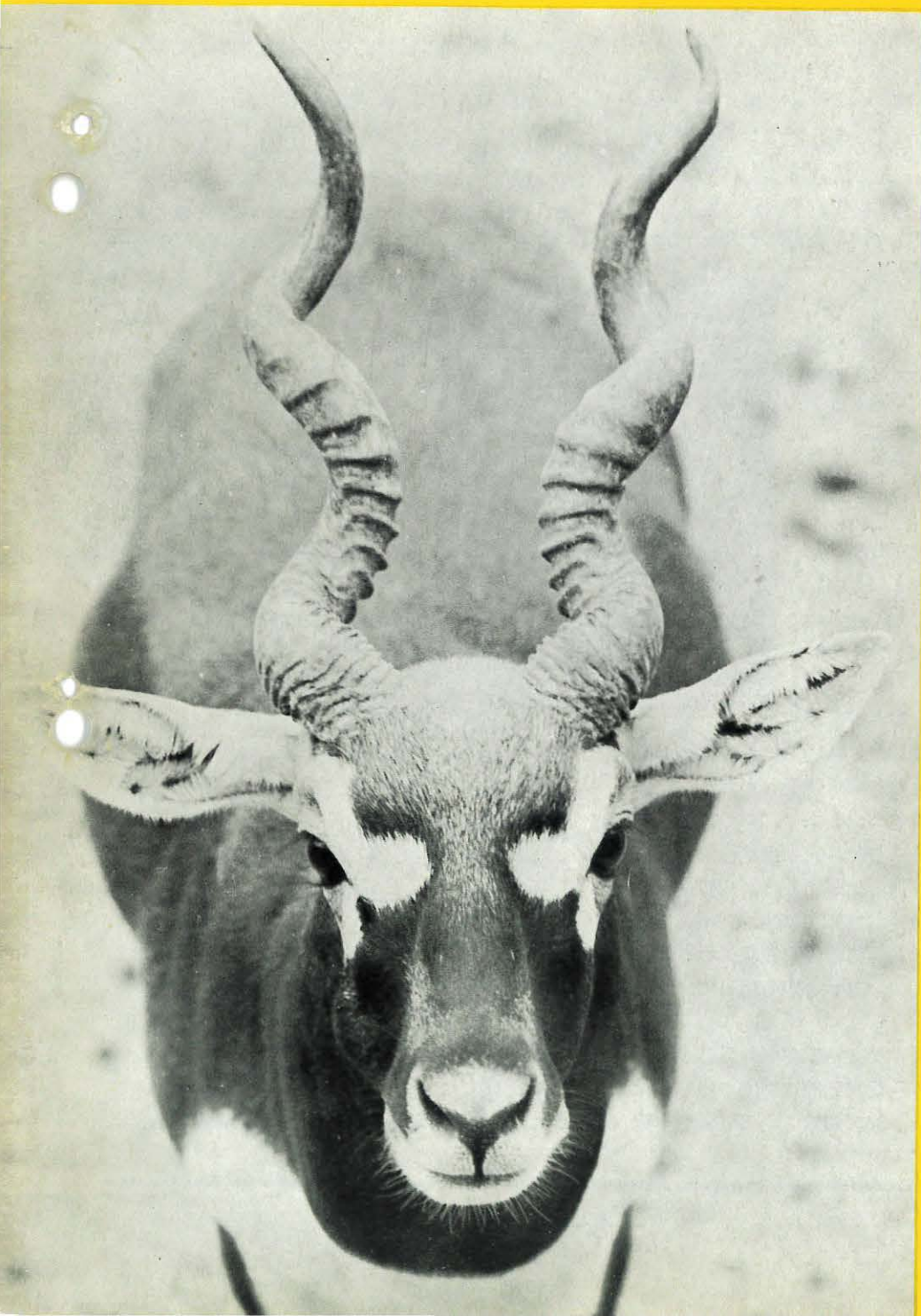


# なきごえ



1968

9

大阪市  
天王寺動物園協会

12



動物と愛情

或日、私は市場カゴをさげ買物に行く道で一人の女の方と知り合いました。その人は、とても、私以上に動物の好きな方で2~3分の間ですっかり親しくなり、その後も時々道で合っては動物の話に夢中になるのです。とくに可愛想な犬の事となると、時間の立つのも忘れ、話し込んでしまいます。

私は、よい友達が出来た事が、なんだか心強く感じたのです。いつも、その友と話し合う事は、犬を飼っている皆さんが、あまりにも無とん着であると言う事です。寒中、しかも真夜中に、家の中にも入れてやらず、戸外で凍えそうになって、ねている犬、又暑い暑い日中、カンカン照りの日向きで、つなぎばなしで死にそうな声を出し、日蔭を求め、水を求め、悲痛な声をはり上げている犬又わざわざ鎖を短かくされて、首つり同様になりねている犬、身動きならない程小さい箱に入れられて、立ち上がる事すら出来ない犬。たとえ、犬と言えども、そんな惨い事、ゆるされてよいものでしょうか。なぜそんな事が、平気で出来るのだろうか。疑問にさえ思ふのです。犬だって一つの生命を持っているのだ。

私は見るに見兼ねてその家に入り、その事を話して、お願いする。しかもペコペコ頭を下げて、ていねいをお願いするのです。でも私の願いを聞いて下さるどころか、いつも叱られるのがおちです。そんな方々は知らず知らずの内に罪をつくっておられる事に気がつかないのでしょうか。悲しい事です。邪魔であれば始めから飼わねばよいとさえ言いたくなるのです、動物は純情です。天心らんまんです。愛情をもって接すれば必ずそれだけかえしてくれます。人間の恩も、なさけも、知っています。それがなぜ分からないのでしょうか。これは聞いた話ですが、独身の男の方で、熱帯魚と金魚をとっても可愛いがって飼っているのですが、毎朝、出勤するさい「行ってくるよ」と言ってガラスの側面をトントンとたたいて出かけるのです。夕方帰って来ると、どうでしょう。全部の魚は、待ちかねた様にガラスの一方に集って、さも嬉しそうに鼻を並べるのです。そこで又、トントンとガラスをたたいて、「ただいま」と言ってやるそうです。「一寸の虫でも五分の魂」という様に金魚やあの小さな熱帯魚でさえ、人間の心からの愛情が通じているのです。まして人間と身近に生活を共にしている犬は、私達の愛情、心の中

までよく知っています。動物だけではなく、私達の心をいやしてくれる様々の木々でさえ、人間の愛を正直に見せてくれます。

このもの言えぬ動物、植物を愛する、ささやかながらも暖かい愛情が、家庭を守り、さては国を守る基となるのではないのでしょうか。もし犬を飼いたい、鳥を飼いたいと思った時、先づ第一に誰が世話をするのかを考えるべきだと思うのです。おじいさんが好きだから、子供にせがまれたからおもちゃがわりにといて、それを簡単に飼う事は大きな間違いだと言いたいのです。食べ物をつくり、世話を続けていかねばならない。その本人自身が、心から動物好きでなければ絶体に飼育出来るものではありません。

サーカスを見てもよく分かります。犬は勿論、あの猛獣であるトラ、ライオン、大きな象、馬でさえ、人間を信頼し、心からの暖かい愛を受けて、あんなに可愛い芸を見せてくれます。私はいつも涙の出る思いで、さぞ辛かったろう、あんなにまで覚えるには、どんなにか苦しかったろうと心うたれるのです。それもみなやさしい愛情の外、何もものない信じることです。

最後にウソの様な本当の話をして頂きます。ネズミと言うものは、人が居れば少しも姿を見せない。ネズミ自身が、人間に愛されていない事をよく知っているからでしょう。私達が一たん取りそこなつたとなると一大事、必らず復讐するのが、ネズミの執念です。タンスの後に穴をあけ、衣類をかみ、ふとんには小便をかけ、その復讐は確実とさえ言われています。そのネズミでさえ人間の愛情をよく知っていたのです。

話は7~8年前の事になるのですが、私はふとした事からおすし屋さんと心安くなり、時々お店にお邪魔させて頂いておりました。お店は、かなり大きく経営され、美しい感じのよいお店でした。ところが夕方になると、その美しいお店にネズミが出始めるのです。足元には、勿論、ビールを飲んでおられるお客様の目の前を2、3匹のネズミ君がチョロチョロ出て来て右往左往するのです。こちらがびっくりしても、ネズミ君の方は、少しも驚かず、かえって愛嬌をふりまわす如く両手をすり合わせたり、顔を洗ったり、とても可愛い事をするのです。そして落ちつきはらって遊んでいるのです。それには、いかなる動物好きの私も声が出ませんでした。来ておられるお客様も常客の方らしく「またや、またや」と言って笑っておられるのです。

次頁の下につづく

カンガルーの人工哺育

カンガルーの人工哺育 私にとって初体験で興味深いものです。カンガルーの人工哺育の知識もなく途方にくれながらもカンガルーの仔の生命力に感銘し、自己流の哺育方法にて人工哺育する事にしました。その哺育記より抜粋して記します。

6月9日の朝、平常通りカンガルー舎へ入ると寝室のコンクリート床の隅に動く事なく横たわっているカンガルーの仔を発見しました。もう死亡しているのではと不安気に抱き上げると、かすかに動き、低い鳴き声を出しました。

体温も低く、貧血気味で、一刻も早く温かい袋に入れて保温してやろうと慣れぬ手つきで、育児のうを縫いました。このカンガルーが親の育児のうにいるのが確認されたのは2月の中旬で、初めて袋から顔を出したのが6月の5日でした。生後150日前後と推定される雌の赤カンガルーです。

人工の育児のうに収容しましたら、中で動き回り眠ってしまいました。幸い乳を出している山羊がいましたので山羊の乳で育てる事にしました。

カンガルーと山羊との乳成分が近かった事は幸いでした。哺乳具は、スポイドの先にムシゴムを付けたものを使用しました。慣れぬためか、最初は吸おうとしませんので、少量づつ流し込んで授乳しました。大小便は排泄孔を指でマッサージして排泄を促しました。この日、9時から24時まで一時間おきに90CC授乳し、体重1100グラムでした。翌朝4時半授乳に行きますと、足音に気付き袋の中で動き回り鳴いていました。

哺乳具にも慣れてスポイドを手で握り元気よく吸いました。一日に5回位脱脂綿に温湯を浸し、体をふいてやりました。授乳が終わると眠り続け空腹

になると袋の中で動き回り鳴くのです。この哺育期間中は担当動物のえぞ鹿、花鹿、スプリングバック、エランドの出産期で毎日忙しい日が続きました。

気候も梅雨期でありましたが幸い温い日が続き、日中は27°C位で夜間のみ電気コタツで保温しました。毎日哺乳量250CC、体重1600グラムでした。袋から出すと、私の後を追いや元気に走り回っています。私の姿が見えなくなると、二本足で立ち上がり、キョロキョロしながら不安そうに鳴き、姿が見えると走り寄ってきます。

被毛も完全にはえそろう、クロバーなどを食べるしぐさをしますが、まだ食べるのは無理な様です。物音に驚いた時、袋へ飛び込む動作は、頭からもぐり込み中で回転し、又袋から顔を出して外の気配を見回しているのです。時折、母親の所へつれていってやるのですが、母親は仔を無視して走り回り、仔も母親へは近寄らず、私の方へ走り寄ってきます。哺育後40日目まで1日の哺乳回数8回、哺乳量330CC、体重1800g位でした。哺育開始時が生後150日としますと、生後190日目に当り、自然の状態では袋から出たり入ったりしている頃です。離乳期までは期間が長い事ですが頑張っ、自然の状態より勝るカンガルーに哺育しようと思っています。(三浦 正明)



なきごえ 9月号 もくじ

動物を用いた薬の話.....2  
 動物愛護週間によせて(動物と愛情).....3  
 動物園グラフ(ベビー誕生).....4、5  
 カンガルーの人工哺育.....6  
 動物園ニュース.....7





↑ アカカンガルー  
三浦さんに人工哺育されこんなに大きくなりました。大変なついでいます。



↑ オオヅル  
ふ化直後から人工育雛しています。池内さんのさし出すえさを上手に食べます。

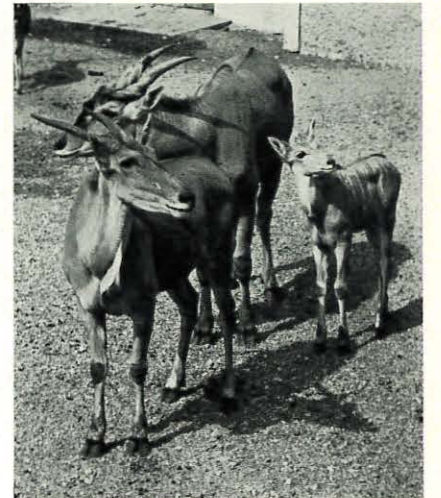
# 動物園グラフ

“ベビー誕生”

可愛い赤ちゃんたちが、ぞくぞく生まれました。  
毎日、赤ちゃんたちの世話で、飼育係は大忙がし。  
みんなスクスク元気に、育ってくれる様に祈っています。



↑ ライオン  
正木さんのさし出す哺乳ビンにしゃぶりつくライオンの赤ちゃんたち。



↑ エランド  
広い運動場で両親の愛情にはぐくまれのびのび育っています。



↑ キンクロハジロ  
アイスランドからとりよせた卵を人工ふ化させ、大きくしました。後ろは担当の磯田さん。



↑ アグーチ(しかねずみ)  
なかなか繁殖力が盛です。かわいしくさしえさを食べます。



↑ トラ  
すっかり大きくなり、運動場ではしゃぎまわり、母ライオンを困らせます。



↑ ハナシカ  
今年も4頭の赤ちゃんが生まれました。

そのネズミ達は、そのお店の人気ものの様になっていました。後日、私はお店の奥さんに聞いてみて二度びっくりと共に頭の下がる思いをしたのです。その奥さんの話しでは、毎晩、ねる前に、真白などはんをどんぶり鉢にてんこもりに入れ、台所のすしごぼんの炊かまどの上に置いて「さあ沢山食べなさいや」と大声で言っておいて二階へ上がるらしいのです。朝おきて見て、全部きれいに食べてあるのが、奥さんはとても嬉しいのだそうです。しかも、時々、大事な食料品を戸棚に入れ忘れていても何一つ食べず、いたずらさえもしていない事が可愛いくてたまらないらしく、一生懸命話して下さいました。私は何かしら、その奥さんに教えられた様な気持ちで一ぱいでした。

少し不潔な様な話ですが、ネズミでさえも、犬猫同様、人間の愛情を知っている。そして、それに対して素直な愛をかえしてくれる。私は深く深く感激したのです。富める人にも貧しい人にも、又善人にも悪人にも、正直な平等の愛を示してくれる。このもの言えぬ動物、憎しみを知らぬこの動物をどこでどんな場合でも愛し、いたわってやるうではありませんか。そして飼った限り、皆さん、最後まで責任を持って守ってやって下さい。と声を大にして叫びたいのでございます。

大阪市旭区上辻町64番地  
村田 鈴子

## 8月動物園日記

- 5日 ブラックバックの赤ちゃんが生まれました。
- 6日 台北動物園からきたセンザンコウのめすが食欲不振となり死にました。
- 7日 ニホンシカが生まれました。猛暑にうだるシロクマ、ペンギンたちに町の氷屋さんから氷のプレゼントがありました。
- 8日 新設の猛禽舎にコンドルなどを移しました。
- 9日 ハナシカが生まれました。キングペンギンはふ化直前でしたが、親がふみつぶして失敗してしまいました。
- 10日 ホロホロチョウなどカモシカ園に放飼するため翼の切断手術をしました。
- 11日 ハナシカとアグーチに赤ちゃんができました。

- 12日 エミューを新設走鳥舎に放飼しました。
- 13日 オオヅル1羽ふ化しましたが14日になって惜しいことに風にかみこられてしまいました。
- 15日 クロヒヨウのメスが老衰のため死にました。飼育年数19年です。
- 19日 動物園の自衛消防隊の消防訓練がありました。
- 22日 ヨーロッパオオカミのおすが肝炎のため死にました。
- 23日 キューバフラミンゴ3羽が入園しました。レア2羽が入園しました。
- 26日 高速道路建設工事が園内でどんどんはじまりました。
- 29日 キングペンギンの1羽が脚弱症にかかり治療をうけています。
- 30日 ダチョウ2羽が入園しました。
- 31日 新しい小獣舎の建設工事がはじまりました。



## 動物を用いた薬の話

動物園にはときどき変わったことを言って来られる方がいます。例えば「鶴のフンを飲むと酒嫌いになる」と聞きましたので分けて下さい。トラの毛は魔除になるとか？ トラの爪を持っていると強い子供が生まれると聞いていますので分けて下さい。と言うようなことです。近郷の動物園にも大体同じようなことを言って来られる方がいるそうです。そこで何故このようなことを信じる人がいるのだろうか？ と不審に思われたので調べて見ました。

江戸時代の文政5年大阪でコレラが大流行したときにトラの頭の骨を粉にして丸薬として与えたところ、コレラによく効いたと伝えられています。この薬の製造元とも言うべき神農神社を中心に大阪の道修町の薬問屋が今日のように発展したので、大変良く効いたのでしょう。

道修町の薬問屋さんは皆この神農神社の氏子となっています。今でもお祭のときは笹の枝に首を振る張子のトラをぶら下げて配っています。この神社の御神体はすくな彦命となっていて、神農の字を用いてはいますが漢方には関係はありません。一応日本における薬の神様です。漢方薬の方はかなりはっきりしています。即ち神農炎帝が百薬の薬効を試みたことに始まりこれが伝えられ、本草綱目と言う本にまとめられ、漢の時代に季当が、床の時代に陶弘景が更に1000余の薬草の薬効が記されています。これが漢方医学の母体となっているようです。これらの漢方薬が仏教の伝来と共に漢、宋、唐、に留学した僧侶によって我国に持込まれたのですが、当時は甚だ貴重なもので宮廷など高貴な一部社会の人々にのみしか用いられず、一般庶民にはその療法は及びませんでした。

(これらの資料は奈良東大寺正倉院に残されています)しかし日本古来にも大国主の命の神話で有名な毛をむしられて裸にさせられたウサギを治すのに蒲の穂が用いられました。このように民間療法的なものが、その地方地方で誰言うともなく伝えられています。明確なものには伯耆(今の出雲

地方)の国の黒焼方といって動物を黒焼にして用いる治療法があって主に外傷に効果があったようです。漢方には黒焼はありません。従って現在日本に多くある漢方薬局の店頭飾られてあるのを見ると、漢方と日本古来のものが同居しているようです。

小山直先生に漢方での薬用動物についてお尋ねしましたところ、動物を用いたものには強壯剤が多い、漢方薬ではそのものの産地と薬効とすることを重視している。例えば、サイ角や尿が下熱剤として効果があると言われているが、尿の場合そのサイがキナの木に繁った地帯に生棲して、キノの葉を大量に食べていたということが分かった。このような関係があるので動物園などで永年飼育せられているものについては、果してその効果が在るかは疑問であるということでした。

日本にいろいろある民間療法の中で動物を用いたものも、その時点では効果のあったものもあったので、全面的に効果があるとは言えないのではないのでしょうか。

現在科学的に究明せられている薬草や熊の胃、ガマの油(強心剤)などのように明らかにされていないものについては、大いに疑問があると思います。頭初に出て来たトラの毛や爪などは一寸迷信的なものを含んでいるのではないのでしょうか。

主な薬用動物  
 コウモリのフン—目の薬 カイコのフン—利尿剤  
 レイコウの角—神経痛、顛癇 サイ角—血液更新  
 ガマの油—強心剤 ジャコウ—興奮剤 熊の胆囊—胃腸及痛み止め 牛黄胆石—強心下熱  
 鹿茸(袋角)—補血、強壯剤 タツノオトシゴ—強壯剤 虎股経骨—神経痛、リュウマチ

松岡 恵爾

### 表紙の写真説明

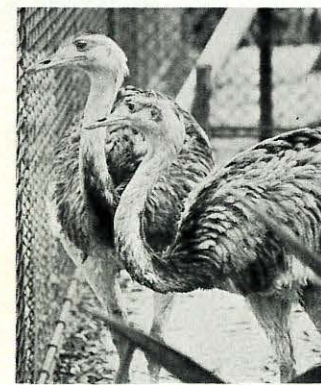
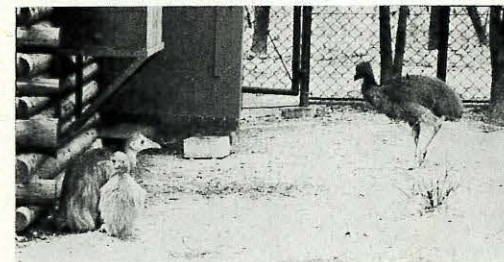
#### ブラックバック

ねじれた角がおすだけにありたいへん美しいかもしかです。からだ全体はコーヒー色で、眼の周りや腹部が白いので、覆面をつけ、黒いマントを着ているようです。

## ダチョウ、ヒクイドリ、レア入園



↑ダチョウ ヒクイドリ↓



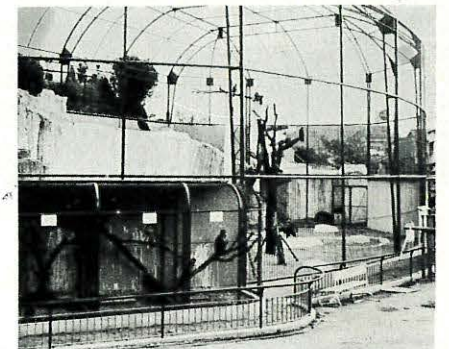
↑レア

先頃完成した走鳥舎に、ダチョウ2羽、ヒクイドリ3羽、レア2羽が入園して放飼されました。ダチョウは動物園の人気者ですが、ほぼ6年前以前いたのが死んでからおりませんでしたが、入園者からダチョウを早く見たいとの声もあり今度のお目見得となりました。

ヒクイドリも永らくいせんでした。今度入園したのはひなで羽毛の色はまだ淡褐色です。大きくなると黒い羽毛となり頭にはカブト状のものとおごにはシチメンチョウのような鮮やかな肉せんがでできます。レアはアメリカダチョウといわれるもので、ダチョウよりずっと小さい。これで前からいたエミューを入れて走鳥類は4種そろいました。

### 新しい猛禽舎完成

このほど新しい猛禽舎が完成し、コンドルをはじめハゲワシなど大型の猛禽は大きいフライングゲージへ、韓国から親善使節としてきたワシミズクなど小型の猛禽は両側に設けられた6室の小部屋に入れられました。従来のよりずっと見やすく、広々とした感じの動物舎です。



### キューバフラミンゴ入園

このほどキューバフラミンゴが3羽購入され入園しました。このフラミンゴは名前の通りカリブ海にあるキューバ島やフロリダ半島にすんでいます。熱帯地方にすむため色はたいへんあざやかな赤色をしています。新しいフラミンゴ池にはなされましたが、ヨーロッパフラミンゴ、チリーフラミンゴより一段とあざやかで、入園者の目を楽しませています。



### 動物園協会売店設置さる!

動物園協会懸案の売店設置が決定し、早速工事にとりかかり8月20日に地鎮祭、8月31日に棟上げ式を行ないました。9月下旬には完成し、営業開始できる予定です。

### 秋の動物愛護週間始まる!

社団法人大阪動物愛護会の主催による秋の動物愛護週間は9月20日(金)から始まります。今年は愛護会創立50周年にあたるため記念行事が行なわれます。

- 主な催し物は次のとおりです  
 期間 9月20日(金)～9月26日(木)  
 期間中 犬の慰霊碑建立募金  
 23日(祭) 家畜動物総合感謝祭  
 “ 動物健康無料相談  
 “ 表彰(愛護関係者、動物画入選者、功労動物)  
 “ 記念植樹、人形劇



# 先生！ 運動用具はそろっておりますでしょうか？

発育ざかりの現代っ子に必要な、とび箱、鉄棒など、情操教育と体力向上の手助けをする、数々の運動用具は、そろってお

りますでしょうか、安全性をモットーとし、運動器具の製作・設置をしているのが、長い歴史を誇る堺の木下製作所です。



創業・明治37年 文部省指定工場  
株式会社 木下製作所  
大阪府堺市鳳中町2丁目41  
TEL 0722 (62) 0341・0596

## おしゃれ仲間の合ことば ミテケ・テケミ を着よう！



ミテケ

テケ

あっちの友達、こっちの友達

みんな「ミテケ・テケミ」を着ています。

色がすっごくきれいです。

あなたも「ミテケテケミ」で

おしゃれをしてみましょう。

仲間の合ことば

思いっきり、遊べる服、

内外の子供服「ミテケ・テケミ」を着よう！！



肌着から洋服まで

### シルバークロス

内外衣料製品株式会社